

1-4-2-2 さんがく しりょうかん 山岳資料館

この建物は明治36年、大野郡なだ灘村（現高山市きりゅう桐生町）に建設されたもので、高山そっこうしよ測候所として使用されていた。昭和45年、測候所が改築されたのを機会にこの地に移築された。そして昭和46年11月1日、飛騨山岳会と市民の方々の積極的な協力を得て、「山岳資料館」として開館した。中には北アルプスを中心とした登山・スキー用具、飛騨を中心とした登山の歴史、地学、気象、動植物などの資料を展示している。

平成12年10月20日、特色のある近代建築として文化庁の登録有形文化財に登録された。

説明板より